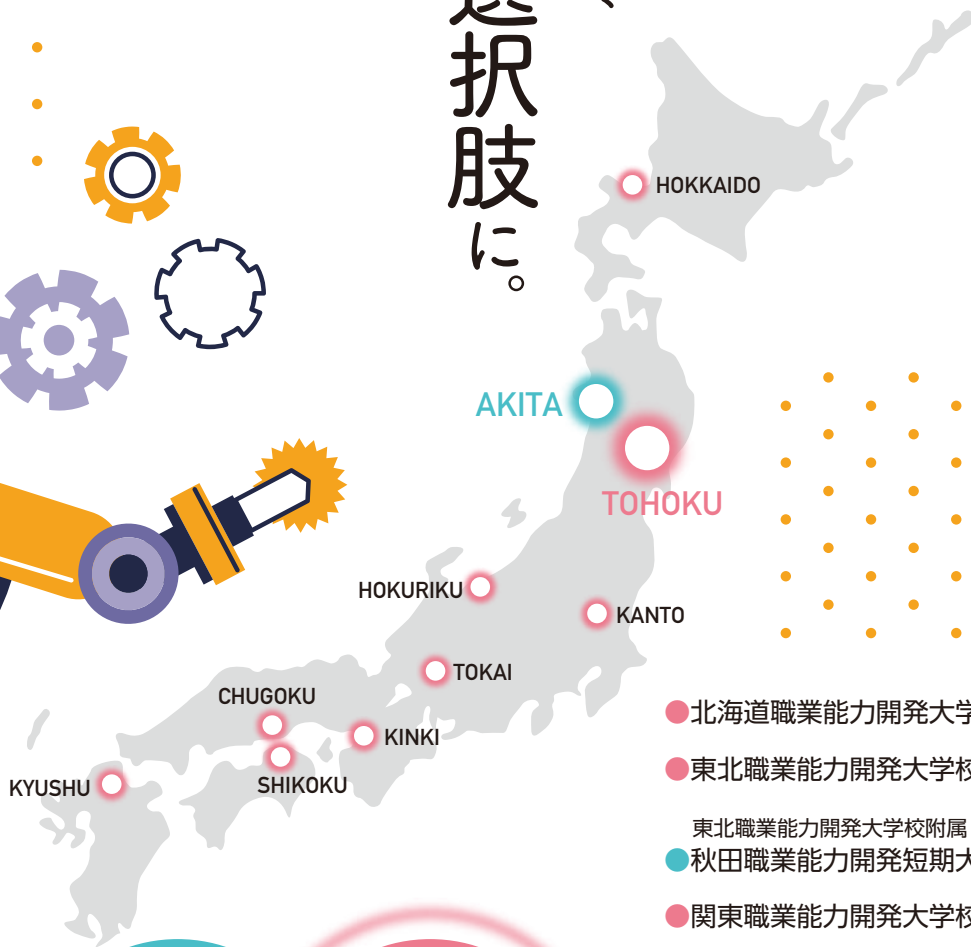


四大としての選択肢に。

未来をつかむための、



秋田職能短大校で

職業能力
開発大学校へ

2年+2年

- 北海道職業能力開発大学校 (北海道小樽市)
- 東北職業能力開発大学校 (宮城県栗原市)
- 東北職業能力開発大学校附属
● 秋田職業能力開発短期大学校 (秋田県大館市)
- 関東職業能力開発大学校 (栃木県小山市)
- 北陸職業能力開発大学校 (富山県魚津市)
- 東海職業能力開発大学校 (岐阜県揖斐郡大野町)
- 近畿職業能力開発大学校 (大阪府岸和田市)
- 中国職業能力開発大学校 (岡山県倉敷市)
- 四国職業能力開発大学校 (香川県丸亀市)
- 九州職業能力開発大学校 (福岡県北九州市)
- 沖縄職業能力開発大学校 (沖縄県沖縄市)



秋田職業能力開発短期大学校

TOHOKU POLYTECHNIC COLLEGE AKITA

+2年の選択肢

新製品の開発、生産工程の構築等に対応できる将来の生産技術・生産管理部門のリーダーを育成します。

応用課程 修了後の就職

工科大学卒業と同等の待遇で採用

大学院 就職



Success!

4年次

開発課題

ワーキンググループ方式により、生産現場に密着した製品の企画開発から製作までの創造的・実践的なものづくり能力を習得します。



Create!

3年次

東北職業能力開発大学校 応用課程(2年制)

進学

専門分野の技能・技術を深めるとともに、関連する技能・技術を習得し、それらを活用する能力を習得します。

- ◆生産機械システム技術科…………… 25名
- ◆生産電気システム技術科…………… 20名
- ◆生産電子情報システム技術科… 30名
- ◆建築施工システム技術科…………… 25名



Step up!

START

秋田職業能力開発短期大学校 専門課程(2年制)

修了

応用課程 学びの内容

当校から応用課程に進んだ先輩たち

機械系

生産機械システム技術科

素材から完成品に至るまでの生産技術の基礎を柱に、基礎的な加工技術からCAD/CAMの実習、機械技術まで専門的に幅広く学ぶことができます。

大石 温斗さん

- ・秋田県立能代高等学校 卒業
- ・秋田職能短大校 専門課程 生産技術科 修了
- ・東北職業能力開発大学校 応用過程 生産機械システム技術科 進学 (R6)



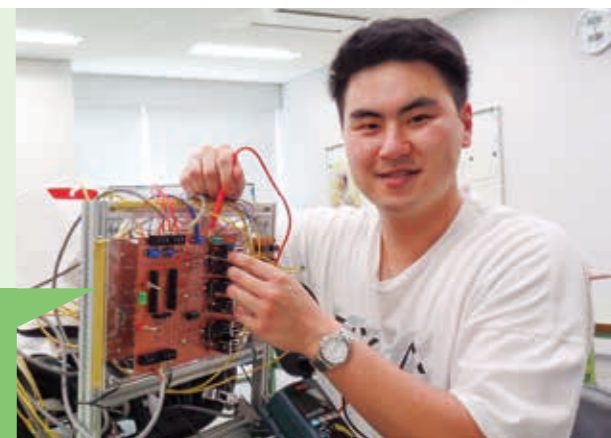
電気系

生産電気システム技術科

電気技術、エネルギー技術及び制御技術を基礎に、自然エネルギー(風力・太陽光)発電の電力制御、電動化技術、工場の自動化・省エネ化技術を学べます。

伊藤 瞭さん

- ・秋田県立由利高等学校 卒業
- ・秋田職能短大校 専門課程 電子情報技術科 修了
- ・東北職業能力開発大学校 応用過程 生産電気システム技術科 進学 (R3)



電子情報系

生産電子情報システム技術科

ネットワーク社会に必要なコンピュータのハード(回路)、ソフト(プログラム)、情報ネットワーク技術、組込みマイコン技術の原理や設計方法など幅広い技術を学べます。

石川 葉月さん

- ・ノースアジア大学明桜高等学校 卒業
- ・秋田職能短大校 専門課程 電子情報技術科 修了
- ・東北職業能力開発大学校 応用過程 生産電子情報システム技術科 進学 (R5)



建築系

建築施工システム技術科

建築計画や建築構造、建築施工について、基礎から応用までしっかり学べます。現場さながらの環境で行う『リアルな実習』が魅力です。

乳井 啓嗣さん

- ・秋田県立五城目高等学校 卒業
- ・秋田職能短大校 専門課程 住居環境科 修了
- ・東北職業能力開発大学校 応用過程 建築施工システム技術科 進学 (R6)



開発課題とは新製品の開発を模擬する課題実習です。与えられた目標・課題に対し学生がチームを組み、自ら企画・設計・加工組立・評価を行い、製品開発の流れを習得します。プロジェクト方式の製品開発の流れを参考にしており、一般大学にはない能開大ならではの独自の教育システムです。

学科の枠を越えて挑む チームプロジェクト

Team Project



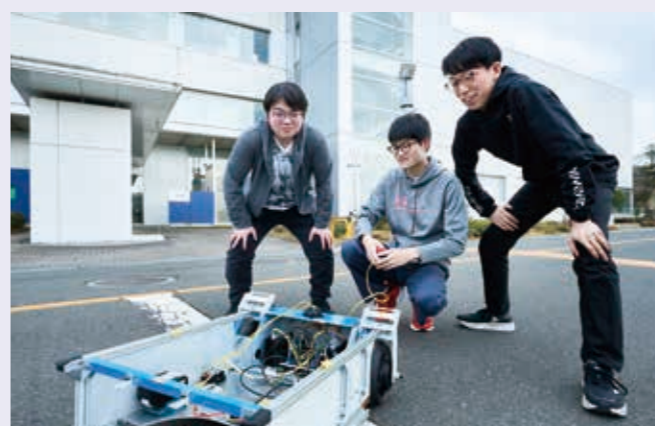
応用課程では、学科の枠を超えてチームをつくり、共通する課題の解決に挑戦する「開発課題」というプロジェクトがあります。それぞれに培ってきた専門分野を活かし、役割を明確にしながらゴールを目指します。生産現場を意識しながら、相互に協力・研鑽することで実社会での実践力を高めることができます。

開発課題のテーマ事例



くりでん鉄道模型の製作と子供向け展示ガイドアプリの開発

本テーマでは、鉄道博物館くりでんミュージアム(栗原市)の展示物をわかりやすく紹介する子供用アプリケーションソフトウェアの開発を行いました。また、ミュージアムに來場した子供たちが「見て・触れて・楽しめる」をコンセプトに、5インチゲージ鉄道模型(栗原電鉄・電動客車M153)の製作と、鉄道模型「くりはら田園鉄道・KD95形気動車」(2019年製)の走行性能と遠隔操作システムの安全機能の改良に取り組みました。



自動走行プラットフォーム Kohgaの開発

車両を自動的・自律的に制御する技術はさまざまな分野に応用されています。本グループは、衛星航法技術を利用した自動走行制御システムに焦点を当て、屋外での利用を想定した自動走行車両とそれを制御・管理するためのクラウドシステムの開発を行いました。車両とシステムのいずれも拡張性を有しており、さまざまな応用用途に対応できます。製作した車両は、学校内における遠隔で指定した場所へ自動で移動できるようにしました。

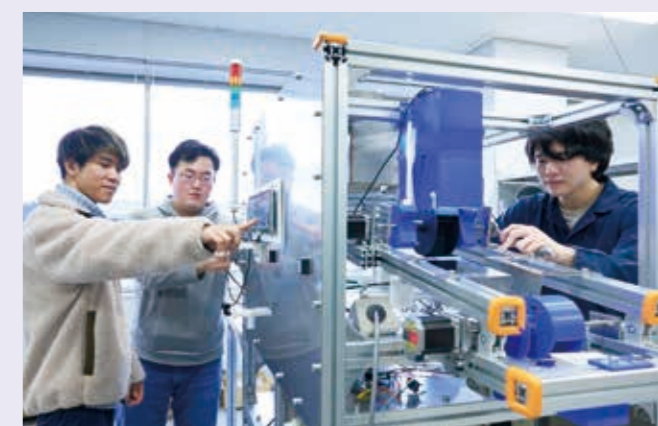
Team Project



空き家を利用した多世代共生型コミュニティ住宅の開発

～空き家とその敷地を含めた活用方法の提案～

総務省統計局の平成30年住宅・土地統計調査によれば、総住宅数6,242万戸のうち空き家率は13.6%と過去最高となり、今後もさらなる増加が見込まれ、空き家問題への対応は喫緊の課題となっています。本研究では、空き家条例制定への取り組み等について確認した上で、空き家が地域にもたらす問題と対策の有効性について調査するとともに、空き家の発生抑制や活用の可能性についても検討していきます。これにあたり栗原市にあるNPO法人が所有する空き家を活用し、その敷地を含めた空き家の活用方法を提案することを目的としています。



食品工場の工程改善 ～自動煮玉子投入装置の開発～

地元食品加工企業との共同研究テーマでした。煮玉子と煮豚が入った惣菜の生産を行っている工程の人員削減に取り組む内容です。工場では煮玉子と煮豚の投入をそれぞれ専任の計2名で作業をしており、今回は煮玉子の投入を自動化することで人員削減を図りました。また煮玉子移載装置を追加することで前段の準備工程も取り込む工程削減になりました。



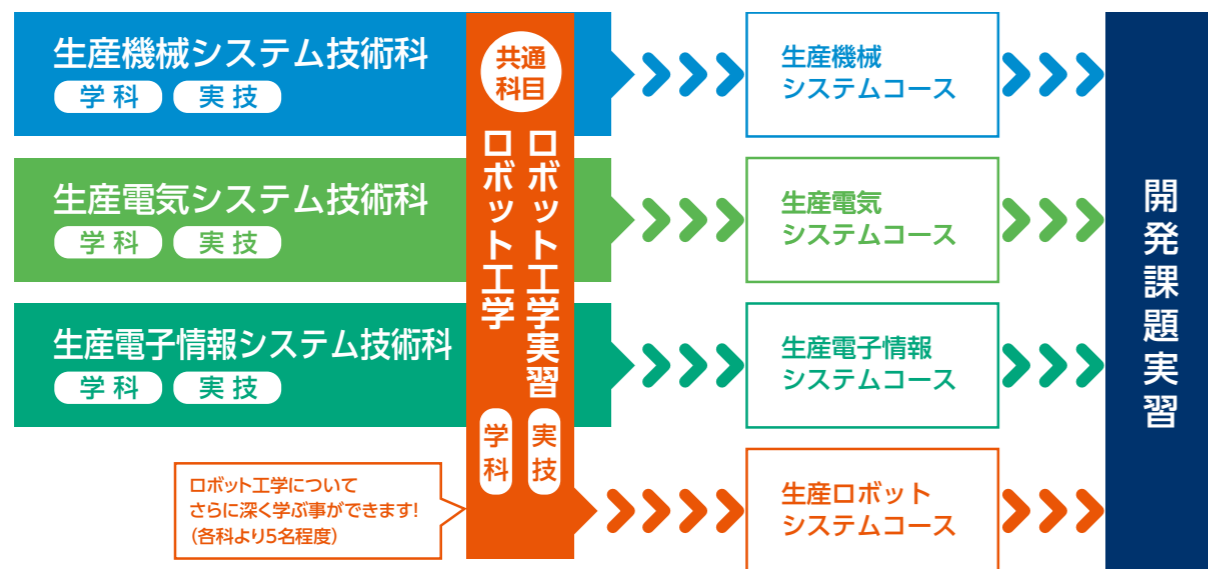
生産ロボットシステムコース

政府が打ち出したロボット新戦略に対応して、令和3年度から応用課程各科に生産ロボットシステムコース(以下ロボットコース)が設置されました。これにより応用課程のカリキュラムの一部は改訂され、従来通りの専門科目に加えて、産業用ロボットに関連する科目を学べます。共通科目であるロボット関連科目を受講した後、ロボットに関する興味が高まれば、各科5名程度を上限としてロボットコースを選択することで、産業用ロボットを活用した自動化システムを構築する実習を受講できます。

目的

生産ロボットシステムコースでは、①産業用ロボットを用いたシステム構築、自動化システムへの適用技術、②保守・メンテナンス技術、③組み込みプログラム、IoT技術に対応したネットワーク技術等を強みとし、システムや製品の企画・開発から生産工程の改良・改善・運用・管理等に対応できる高度なスキルを有するエンジニアやSier(システムインテグレータ:ロボット技術を組み合わせて自動化システムを構築する技術者)の育成を目指します。

カリキュラムイメージ



当校を修了後、応用課程に進学した先輩の活躍を紹介します!

北鹿の学び舎から 2023

おかげさまで 30周年

卒業生からのメッセージ〜30周年に寄せて〜 ⑥ 秋田職能短大

創立30周年に寄せて

秋田職業能力開発短期大学が創立30周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。私は、平成16年に情報システム系情報技術科を修了後、

応用課程を経て、一人の技術者に留まらず、会社の方針や制度策定にも参加できる事に共感し、茨城県にあるソフトウェア業の株式会社ユメニティに入社し勤務しております。私の主な業務はお客様の元へ直接訪問し問題解決策の提案や、開発現場のマネジメントですが、自社をより働きやすい会社にするべく、社内インフラの改善提案から構築と運用、社内制度の策定にも携わっております。

この度、創立30周年にあたって寄稿のお話を頂き、何を以て30周年に固定回線を敷設し、寮内に固定回線を敷設し

書こうかと学生時代を振り返っていきなりかと思わず、今更に「今の私の考え方の基礎」となっている出来事や短大時代であったことに気が付きましたので、そのことを書かせていただきます。

当時はインターネット普及の過渡期であり、当然、私の居た学生寮もインターネット回線は敷設されておらず、インターネットを利用したかった私は、アルバイトで得たお金でモバイル回線を契約しましたが、高額な割に32kbpsしか出ないため、寮内に固定回線を敷設し

てくれないうちと不満を持っておりました。ある日、私は先生方と学生のインターネット環境について話す機会があり現状に不満がある事を伝えました。先生方は真剣に話を聞き入れ、嘆願書という形で校長先生に提出する方法を提案してくださいました。私は早速施工業者を訪ね、工事内容や誰の許可が必要か相談し、寮生に声をかけ同僚を募って嘆願書を作成して校長先生へ提出しました。校長先生は突然のお話にも関わらず、積極的に検討すると嘆願書を受け取って頂いたことを今でも覚えています。

母校の環境は、その分野の問題から、卒業までに固定回線の敷設は間に合いませんでしたが、その後敷設が完了し寮生は自由に回線契約ができるようになったと聞いております。

私は日々のカリキュラムから得た知識のほかに、この経験から「自分の考えを素直にアウトプットする」「相談事は真摯に受け止め、自分ならどうするかまで助言する」という行動がより良い結果を生み出すことを学びました。そして今でも、この行動を基礎にしてお客様への提案や開発現場の調整、自社への改善提案を行うことで各方面と信頼関係を築き柔軟に業務を行っております。このような学びを些細な話から得ることができたのは、先生方がカリキュラム以外のことにも真剣に向き合ってくださったからであり、そのことに今も感謝しております。

現在でも少人数制かつ実践的なカリキュラムを提供する



株式会社ユメニティ 横道 一紀さん (平成15年度卒業)

母校の環境は、その分野の問題から、卒業までに固定回線の敷設は間に合いませんでしたが、その後敷設が完了し寮生は自由に回線契約ができるようになったと聞いております。

学生の皆さんは、2年間の学生生活を大切に使い、自分たちが気になることや挑戦したいことは積極的に先生方にも話してみてください。先生方のサポートは、自分だけでは得られなかった考え方や経験が学べ、対応力の1つになると思います。先生方におかれましては、引き続き学生の他愛のない会話にも全力で向き合い、カリキュラム以外の経験も育てて頂きたいと思っております。

素晴らしい環境にある母校が30周年を契機として、より一層、学生の知識と経験を伸ばし、社会に柔軟に対応し活躍できる人材を輩出していくことを期待しています。

入校試験概要

推薦入試

願書受付	4月中旬～5月上旬	試験日	5月中旬	合格内定通知	6月上旬
出願資格	専門課程の高度職業訓練を翌3月に修了見込みの方で、校長が責任を持って推薦できる方で且つ応募科と同系の学科に在籍する方。				
対象校	秋田職業能力開発短期大学校、青森職業能力開発短期大学校、岩手県・山形県・福島県の各職業能力開発短期大学校				
受験料	18,000円				
試験会場	東北職業能力開発大学校				
選考方法	書類審査、面接				

一般入試

願書受付	6月上旬～下旬	試験日	7月上旬	合格内定通知	7月下旬
出願資格	次の(1)(2)いずれかの条件を満たす方。 (1) 専門課程の高度職業訓練を修了した方(応募科と同系に限る。3月修了含む) (2) 以下のいずれかに該当する方 ・実務経験により応用課程の教育訓練を受けるにふさわしい技能・知識を有する方 ・大学、短期大学校、専修学校、高等専門学校等において応募科と同系専門課程の学科を卒業又は卒業見込みの方				
受験料	18,000円				
試験会場	東北職業能力開発大学校及び各ブロック大学校				
選考方法	筆記試験、面接				

学費

進学について考える時、学費と共に生活に掛かる費用も気になると思います。入校時と在校中にどれくらい必要なのか、金額の目安をお知らせいたします。

●学費等

区分	3年次 (応用課程)	4年次 (応用課程)
受験料	18,000円	
入校料	112,800円	
授業料	390,000円	390,000円
合計	520,800円	390,000円

※このほかにテキスト代、実習用具代、実習服代、安全用具代などがかります。

●寮費等(概算)

区分	年額	月額
寄宿舎使用料	56,400円	4,700円
寮費(共益費)	150,000円	12,500円
備品更新積立金	4,800円	400円
食費※	260,000円	
クリーニング代	13,200円	(※退去時のみ)
合計	484,400円	

※食費は変動するため概算値を示しています。

※土・日・祝日は食事が基本ありません。

※長期休暇(夏・冬・春)の際は閉寮期間があります。

INFORMATION

秋田職業能力開発短期大学校
学務援助課

〒017-0805 秋田県大館市字扇田道下6-1
TEL.0186-42-5600(代表5700)
FAX.0186-42-5719

○ホームページで最新情報をご覧ください。
<https://www3.jeed.go.jp/akita/college/>

秋田職能短大校



- 東北自動車道 十和田I.C.～国道103号線…約20km
大館北I.C.～国道7号線…約5km
- JR大館駅下車 市内バス路線
大館駅前から大館市役所前(約15分) 下車し、1.2km(徒歩約15分)
- JR東大館駅から2.1km(徒歩約25分)